

令和4年10月18日

岩倉市議会

議長 伊藤 隆信 様

総務・産業建設常任委員会

委員長 井上真砂美

行政視察報告書

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 令和4年 10月 7日 (金)
- 2 視察先 豊田市「とよた Ecoful Town」
豊田市議会
- 3 参加人数及び氏名

7名	井上 真砂美	大野 慎治
	梅村 均	鬼頭 博和
	水野 忠三	黒川 武
	榊谷 規子	

- 4 復命事項

別紙のとおり

豊田市「とよた Ecoful Town」行政視察報告

1, 日時；令和4年10月7日（金）

2, 場所；研修見学場所：豊田市元城町三丁目11「とよた Ecoful Town」、

豊田市議会（議場見学）

3, 参加者；7名

総務・産業建設常任委員会（井上真砂美、大野慎治、梅村均、

鬼頭博和、水野忠三、黒川武、榎谷規子）

4, 研修内容

豊田市は、多様性・可能性を秘めた様々な地域資源を有しています。

二つの顔があります。世界をリードするものづくり中核都市の面と、市域のおよそ7割を森林が占める田園の面です。

市民、地域、企業、大学、先進技術、自然。さまざまなものがつながり、それぞれの魅力を活かし合って豊かなまちをつくるー 持続可能な「豊かな暮らし」を目指す豊田市は、10年先、50年先を見据えた新たな取り組みに力を注いでいます。

豊田市における「スマートシティ」の構想イメージ・事例・事情を体感できる施設「とよた Ecoful Town」に行き研修しました。

A 豊田市が目指す持続可能なまちづくりをさまざまな形で体験できました。

① さらわれる地球：デジタル地球儀をさわることによって、世界規模の社会課題を体感できました。

② とよたマッピングビジョン：豊田市の模型に産業・畜産物・観光資源など多彩な魅力をプロジェクションマッピングで紹介してあります。

③ SDGs 未来都市とよた：壁に備え付けられたレゴを開くことによって、「SDGs 未来都市」を知ることができました。

④ つながる社会 TOYOTA CITY：先進技術の開発や実証を担う「豊田市つながる社会実証推進協議会」の活動内容や 50 年後のビジョン、10 年間の活動が紹介してありました。

⑤ とよたタイムトリップ：壁面に描かれた「現在」の豊田市のイラストにタブレットをかざすと「50 年後の豊田市」の様子をのぞくことができました。

B クルマとつながる家 ●出展：トヨホーム（株）

HEMS で家とクルマ、先進技術をつなぎ、エネルギーを賢く使う暮らしが体験できます。蓄電技術を使った「電気自動車」と「家」とのつながりを学びました。

C 水素ステーション ●出展：東宝ガス（株）、岩谷産業（株）

燃料電池自動車（FCV）のエネルギーステーション。

水素製造装置を備えたオンサイト型で、FCV「MIRAI」約30台分の水素を製造・貯蔵できます。

特殊設備を見学し、水素製造やFCVなどについて学びました。

D モビリティ体験試乗

水素で走るクルマ「MIRAI」、超小型電気自動車「C+pod」の試験試乗ができました。

E アグリ キューブ

4.7m×2.5m×2.6m の直方体「DiwaLease」で、リーフレタスを5000株育てたということです。植物に必要なCO₂を吸収して環境にやさしい野菜栽培です。

壁で「イチゴ作り」 ドリップチューブで水の補給をしている。

車椅子使用の方は田畑で腰をかがめての作業が困難であるが、壁で農作物ができることによって取り入れや作業が容易にできます。

F 地産地消ハウス「ほがらかふえ」 ●出展：水嶋建設（株）、（有）ナクア

地元産の食材を使用して、てまひまかけて作られたこだわりのメニューが味わえます。建物は豊田市産100%の木材を使用しています。

所感

世界に誇るクルマのまち豊田市の最先技術や未来都市を彷彿とさせる「SDGs 未来都市とよた」の将来像をコンパクトにまとめられた施設「とよた Ecoful Town」と豊田市議会を視察した。豊田市は、温室効果ガス 2050 年までに 40%～70%の低減（2010 年比）を目指している。次世代自動車の普及促進を図ること、そして、ライフスタイル全体で二酸化炭素削減を目指すことがあげられる。将来ビジョンを明確に体感できたことは意義深い。

「とよた Ecoful Town」低炭素・カーボンニュートラル社会のモデル地区見学は、「SDGs 推進を図る岩倉市」につながるアイデアをみつけることができた。例えば、都市の食料生産ゾーンでは、野菜の栽培において工業製品を作るように箱型の空間「アグリ キューブ」で行うことを確認した。また、壁で栽培するイチゴを知り、岩倉駅周辺のにぎわい通りでもできると思われた。

災害時の「クルマとつながる家」ではエネルギーを賢く使う知恵満載だった。

未来を担う SDGs を考えたまちづくりに生かしていきたい。

また、豊田市議会議場を見学した。手話が必要な議員が在籍するという事で議場に置かれた「手話通訳者」の席や傍聴席の端に置かれたスタンド式の「モニター」が目についた。気配りされていたので検討していきたい。